

「房州」閉店

Facebook, 2024.6.22

純喫茶「房州」（フランス菓子のポワブリエールたかのぼし店）閉店が地元紙「中国新聞」で取り上げられました。

オーナーパティシエ夫妻をよく知っており、夫妻が古い顧客の一人として名前を出したようで、記者から電話取材を受けました。

オーナーは高校の同級生の弟で、フランス人と結婚したので、夫妻の帰国後すぐに紹介されました。

マダムは 20 代のきれいなかわいい女性でした。

「デート・・・」は、多くの古い顧客の代弁のつもりで喋ったのですが・・・

同僚にフランス人女性と結婚した人はたくさんいるのですが、結婚後間もなく離婚した人も少なくありません。夜の会合（食事、映画、観劇、コンサートなど）に夫人同伴でないことなど考えられないフランスから日本に嫁いで来てみたら、日本ではまったく反対に、主人のみが仕事を終わって飲みに行く、夫人は一人で家にいる、そのような生活習慣に耐えられなくなり、離婚してフランスに帰ったのですが、ジョスリーヌさんは違っていました。必死で日本語を覚え、日本の風習に馴染んでいき、日本人になっていきました。そのけなげな姿に、はたから一生懸命応援していました。

中区千田町

被爆後に再建 復興見守る

喫茶店「房州」88年で幕



広島市中区千田町で1935年に創業した喫茶店「房州」が30日で88年の歴史に幕を閉じる。被爆して店は焼失したが、翌年には再建。戦後の復興も見守った広島を代表する店の一つだったが、建物の老朽化のため存続を断念したという。店内に併設するフランス菓子店「ボワブリエール」たかの橋店も閉店する。(馬上穂子)

房州の店内で思い出を語り合う市原さんとフランスでの修業中に出会った妻のジョスリーヌさん



「街の看板的なお店」惜しむ声

房州は、オーナーの市原重永さん(78)の父、鈴木茂さんと母清子さんがパン店として開店した。原爆投下で爆心地から南約1.3kmの店は焼失したが、翌年には同じ場所で菓子と喫茶の店として営業を再開した。店舗そばの実家で育った市原さんは「お昼時はサンドイッチやコーヒーを楽しむお客さんで満席だった」と子どもの頃を振り返る。広島大の学生、市役所や近隣の会社に勤める人でにぎわったという。市原さんは20代の時、フランスで修業。74年には房州1階にボワブリエールを開いた。房州では県内で初めてクレープを提供した。市原さんの菓子やスープも人気を呼び、妻や亡き兄重永さん、両親とともに切り盛りしてきた。休業した時期もあったが、2008年からは、おいが加わることで店の歴史をつないできたという。

学生時代からのファンという広島大名誉教授の原野昇さん(81)「東広島市」は「落ち着いた店内で、本を読んだりデパートをしたりした思い出のある貴重な場所。青春の一部がなくなるように寂しがる。近くでスポーツ用品店を営む小野本利明さん(74)も「周辺でも一目置くようなおしゃやかな雰囲気、街の看板的なお店。残念だ」と話す。閉店を知った古い客からも思い出エピソードや感謝をつづった手紙が届いているという。市原さんは「みなさんに支えられていたんだなあ。ここまで続けてきてよかった」とかみしめる。

「培ってきた歴史と伝統を引き継ぎ、フランス菓子の魅力を伝え続けたい」としてボワブリエールは今後、中区舟入南の本店で営業を続ける。

Facebook, 2024.6.19

広島大学は、現在は東広島市にありますが、以前は広島市内にありました。
その大学の近くに「房州」という名前の喫茶店があり、私も含めて大学生がよく出入りしていました。
高校の同級生の店でもあったので、余計に親しみのある純喫茶でした。
同級生の父親（房州＝千葉県出身）が 1935 年に始めたパン屋がその始まりのようですが、同級生の弟がフランスで菓子の修行を積み、フランス人女性と結婚し、帰国後「房州」の一角に菓子用の釜を設け、妻ジョスリーヌさんと一緒に始めたのがポワブリエールという、広島で初めてのフランス菓子専門の店です。
それだけに閉店は一抔の寂しさを禁じ得ません。
とはいえ、その歴史と情熱が舟入本店に引き継がれてゆくということなので、ますますのご発展を祈ります。

市原堇永氏の Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100019386263593> 参照

閉店のお知らせ

お客様各位

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、多くの皆様に愛されてまいりましたポワブリエール鷹野橋店は、建物の老朽化に伴い 2024 年 6 月末で新たな章を迎え、舟入本店へその伝統と情熱を引き継ぐこととなりました。

鷹野橋店は「房州」の名で広島で一番古い喫茶店としてテレビでも紹介され、広島で初めてクレープを焼き上げ、フランス菓子を提供し、社交場として親しまれてきました。その味わいを、これからは舟入本店にてお楽しみいただければ幸いです。

お客様並びに関係者の皆様には突然のご報告になりました事、心よりお詫び申し上げます。私達もこの別れに寂しさを感じずにはいられません。これまでのご支援に深く感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

尚、最後の週 26 日（水）から 30 日（日）は感謝フェアを行います。

6 月末までお楽しみくださいませ。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

敬具

ポワブリエール一同